

日本経済産業省とルーマニア研究・イノベーション・デジタル化省との間の
エネルギー転換協力に関する共同声明

2024年11月4日、竹内真二経済産業大臣政務官とボグダン・グルイヤ・イヴァン研究・イノベーション・デジタル化大臣（以下、両者を「大臣」と呼ぶ）は、ルーマニア・ブカレストにて開催された日ルーマニアエネルギーフォーラムに参加する日本企業同席のもと、エネルギー転換協力について議論するために会談を行った。

1. 両大臣は、エネルギー転換とクリーンエネルギー導入の必要性を認識し、原子力、水素、再生可能エネルギー、CCUSなどの発展について意見交換を行った。また、両者は、ロシアのウクライナ侵略を契機としたエネルギー安全保障や、特にIT分野での経済発展によるエネルギー需要の増加といった重要な課題に対応するため、上記の分野で日本の先端技術を導入し、協力を深めていく意向を表明した。

2. イヴァン研究・イノベーション・デジタル化大臣は、2023年3月7日に両国間で署名された「戦略的パートナーシップ」の枠組みに沿って、上記に挙げられた分野における日本との協力を期待を示した一方、竹内経済産業大臣政務官及び日本企業は、日本の先端技術がルーマニアのエネルギー転換に大きく貢献できることを確認した。

3. 両大臣は、日本企業によるルーマニアへの投資を促進し、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）や研究・イノベーション・デジタル化省などが提供する財政支援プログラムを活用しながら、両国がこれらのプロジェクトに対して財政支援の確保を追求することを確認した。

4. 加えて、両大臣は、日本貿易振興機構（JETRO）が、スタートアップを含めた双方の民間企業のビジネスマッチング支援の継続と、必要に応じて、両省に必要な情報提供を行うことを確認した。

5. 両大臣は、研究・イノベーション・デジタル化省とNEDOとの間で、連携に関する覚書きが今後署名されることを歓迎した。

本共同声明は、いかなる法的拘束力を持つ義務または権利を発生させるものではない。

日本経済産業省
経済産業大臣政務官
竹内 真二

ルーマニア研究・イノベーション・デジタル化省
大臣
ボグダン・グルイヤ・イヴァン